

*Petit*

JP  
01

HOKKAIDO  
MAGAZINE  
JP 01

出かけよう。心が動く、5感が動く  
【プチ・ジェイピーゼロワン】



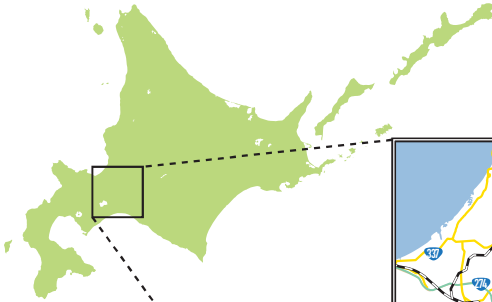
TAKE  
FREE ¥0

むかわ町

人と自然が輝く  
清流と健康のまち



## 広域マップ



出かけよう。心が動く、5感が動く

**PETA** JP01 [プチ・ジェイビーゼロワン] **むかわ町**

企画・発行 / むかわ町総務企画課政策推進グループ

〒054-8660 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地 TEL.0145-42-2411 (代表)

編集・デザイン・印刷 / 総合商研株式会社

北海道発掘マガジンJP01(ジェイビーゼロワン:通称ゼロワン)は、  
179市町村、14振興局のありのままの、でもありきたりではない魅力を共有し、  
「思わず出かけたくなる北海道」として皆様にお届けする総合商研(株)発行の季刊誌です。

※掲載している情報は2019年12月現在のものであり、変更される場合があります。

※掲載している商品等の金額は、税別表記がある場合を除きすべて消費税(10%)込みです。

※JP01[ジェイビーゼロワン]とは国際標準化機構による「北海道」の国際的地理コードに由来します。(ISO 3166-2)

※「JP01」は、総合商研株式会社の登録商標です。(登録第5798711号商標など)

人と自然が輝く  
清流と健康のまち

# むかわ町



道央圏の南方、胆振管内の東端に位置するむかわ町。南部は太平洋に面し、北部の三方は日高山脈系の山々に囲まれ、その山々に源を發する長さ13.5kmの清流、トウモロコシ川がまちを南北に流れる、自然環境に恵まれた細長い地形をしたまちだ。海側にあった旧鶴川町と山側の旧穂別町（ほつべつ）が平成18（2006）年に合併し、新「むかわ町」が誕生した。

海岸沿いには苫小牧市から日高方面へ続く国道235号、北部の山間には日高山脈を越える274号が通り、それと並行するように日高自動車道、道東自動車道も開通。それぞれ町内にインターチェンジがあり、新千歳空港のある千歳市や、フェリーターミナルがある苫小牧市から車で40分ほど、札幌市からも約90分と、どこから訪れてもアクセスは抜群だ。

特産の「鶴川ししゃも」や、近年は恐竜化石「むかわ竜」の発見などで話題のむかわ町を詳しく紹介する。



■人口/7,846人

■世帯数/4,074世帯  
(2020年1月末現在)

■面積/711.36km<sup>2</sup>

■年平均気温(参考:札幌市/8.9℃)

鵜川地区/6.8℃

穂別地区/6.2℃

■一年の降水量

(参考:札幌市/1106.5mm)

鵜川地区/989.4mm

穂別地区/1170.8mm

(気象庁ホームページより)

■町章



全体をむかわ町の「ム」の字でかたどり、左側の緑は豊かな森と豊富な産物を、右側の青い線は清流と海、澄み切った青空をイメージ。中央の赤い円は住民の健康と融和、みなぎる活力を意味し、太い曲線は力強さと自然の奥深さ、自然と住民が共生する姿を表している。

■マスコット  
キャラクター

むかろん

町合併10周年記念事業の一環として、町内の小学生からデザインを公募し町民投票などによって決定した公認キャラクター。メロンやクビナガリュウ、ししゃも等まちの名物があしらわれている。



むかわ町データ

# いま、むかわと言え “むかわ竜”!



## 恐竜化石「むかわ竜」 東京出張で大モテ!?

2019年の7月～10月にかけて、東京の国立科学博物館にて「恐竜博2019」(主催/国立科学博物館、NHK、NHKプロモーショーン、朝日新聞社)が開催された。この恐竜博で、モンゴルで発見された「謎の恐竜」と言われる「ティノケイルス」という恐竜の全身復元骨格と並ぶメイン展示の一翼を担ったのが、むかわ町種別で発見されたハドロサウルス科恐竜の全身骨格化石、通称「むかわ竜」である。恐竜博は、期間中約67万人が来場。多くの人にむかわ竜の存在を知らしめたとともに、産出地である「むかわ町」の名も大いにPRする機会となった。

では、なぜむかわ竜が、恐竜博のメイン展示となったのか。それは、むかわ竜の発見が日本の恐竜研究史においていくつもの「日本初」となる大発見だったからである。

むかわ竜は、最初に尻尾の部分の化石が平成15(2003)年に発見



クリーニングを終え並べられた化石と人を比較すると、その大きさがよくわかる。比較対象となっているのは、むかわ竜の発掘・研究を担当した北海道大学総合博物館の小林快次教授。

むかわ竜のCG復元イメージ。むかわ竜は、陸で暮らしていたハドロサウルス科恐竜の死骸が何らかの原因で沖合に流され、海底に埋もれたと考えられている。(提供:服部雅人氏)



(写真手前・北海道大学総合博物館 小林快次教授)

むかわ竜発掘現場の様子。そもそもは平成15(2003)年、種別在住の仕石取集家 堀田良幸さんが種別里の山中で尻尾の部分の化石を発見し種別博物館に贈ったことがきっかけ。



「恐竜博2019」会場でのむかわ竜展示ブースの様子。連日たくさんの方の来場者の注目を引き、特に子どもたちには大人気だった。写真提供:「恐竜博2019」(撮影:山本倫子)

され、その後平成25(2013)年、翌年に行われた大規模な発掘調査により、ほぼ全身の骨格を回収することに成功。通称「むかわ竜」と名付けられたこの化石は、骨格の8割以上が揃った大型恐竜の全身化石として日本初の発見例となった。恐竜大繁栄時代である中生代後期白亜紀(約1億年〜6600万年前)の、植物食恐竜の全身骨格化石としても日本初。さらに、かつて海だった地層から発見されたハドロサウルス科恐竜の化石はこれまで部分的には見つかっていたが、ほぼ全身の化石が発掘されたという点でも日本初なのである。

種別地区では昔から多くの化石が発見されていたが、恐竜時代の種別は海の底だったため、クビナガリュウなどの海生爬虫類やアンモナイトといった海の古生物化石が主だった。そこに突如として姿を現した陸で暮らしていた恐竜の化石「むかわ竜」は、むかわ町を、一躍日本の化石・恐竜ファンの聖地へと押し上げたのである。



街角

## Dinosaur Collection

むかわ竜が発見される以前から、  
多くの化石が発見され「化石のまち」として有名なむかわ町穂別地区。  
それだけに、街なかには恐竜をモチーフにしたものがたくさん！  
穂別地区で見つけた恐竜・化石たちをご紹介します！  
街を歩けば、あなたもきっと見つけられるはず！



# 化石と 生きる

恐竜化石を活かした  
むかわ町のまちづくり



化石発掘を体験する、むかわ町子ども化石くらぶ「ハドロキッズチーム」の子どもたち。道内の小学生を対象に、町の象徴である化石と親しめるさまざまなプログラムが用意されている。

## むかわ竜と恐竜ワールド構想

ハドロサウルス科恐竜の新種であることが確認され、「カムイサウルス・ジャポニクス（日本の竜の神）」と命名されたむかわ竜。町は、この貴重な資源を活かしたまちづくり計画「むかわ町恐竜ワールド構想」を推進中だ。この構想は、豊富な化石の産出地という強みを活かして町の魅力を向上させ、恐竜以外の地域資源とも連携し、町全体をステージとして来訪者の周遊を促進。住民の郷土愛を育み、持続可能なまちづくりを目指すものだ。むかわ竜の発見によりこの構想が立ち上がったことを考えると、先の震災も無傷で乗り越えたむかわ竜は、単なる一つの化石標本としてだけでなく、構想の中心であり、復興のシンボルとしての大きな役割を与えられた存在なのだとと言える。

多くの種別産化石を展示している種別博物館は、構想の中核施設としてむかわ竜の骨格標本を展示できるようリニューアルを計画。いつでもむかわ竜を見られるようになる日が待ち望まれている。

町民にもむかわ竜のすごさをもっと知ってもらって、多くの人に博物館に来ていただきたいですね

博物館では写真の「むかわ竜ペーパーバズル」(2,000円)など恐竜グッズも販売中。

種別博物館の櫻井館長



### むかわ町立種別博物館

むかわ町穂別80番地6  
TEL.0145-45-3141  
9:30~17:00(最終入館16:30)  
月曜、祝日の翌日、年末年始休み  
入館料/大人300円、  
小学生~高校生100円、  
小学生未満無料



館内には、むかわ竜の実物化石の一部を展示。現在の博物館の大きさでは、全長約8m、高さ約4mにもなるむかわ竜を展示できるスペースがないのだ。





輝く！  
むかわの  
産業

1

# 漁業

## 町の文化でもある 「鵜川ししゃも」

むかわ町は太平洋に面しているため、鵜川地区では昔から漁業が盛んに行われてきた。

サケやホッキガイ、カレイなど多くの魚介が獲れるが、中でも特に有名なのは、何ととってもシシャモだ。

町を流れる鵜川へ遡上するため沿岸に集まるシシャモを獲るむかわのシシャモ漁は、古くからこの地域で行われ、アイヌの伝説にも残っているほど。昭和50年代には年に100トンを超える漁獲量があったが、海や川の環境変化の影響などにより大幅に減少し、希少な魚になった。平成18(2006)年には「鵜川ししゃも」として地域団体商標にいち早く登録。その味わいは広く町内外に知れ渡る。「町の魚」であるシシャモは、まちの文化の一つなのである。

シシャモ以外にも、サケやマツカワの稚魚の放流など、安定した漁獲量の確保のための栽培漁業の推進に、積極的に取り組んでいる。

シシャモの水揚げの様子。シシャモ漁は、シシャモが産卵のため河口に近づく10～11月にかけて行われる。鵜川漁業協同組合では資源量保護のため、操業時間を6:30～12:00のみと規制している。





町内の沿道に並ぶ商店の軒先に吊るされるシシャモのすだれ干しの風景は、秋のむかわの風物詩。これを求めて多くの客がむかわを訪れる。



鶴川沿岸で獲れるシシャモは他の地域に比べて魚体が大きめだといわれ、その身はふくらとして柔らかい。町内の飲食店ではフライや寿司でも堪能できる。

## 柳の葉がシシャモに!? アイヌの“シシャモ伝説”



鶴川周辺で暮らしていたアイヌには、以下のようなシシャモの伝説が残っている。

その昔、カンナカムイ(雷神)の妹が暇をもてあまして鶴川の上流に降り立ったところ、近くのどのコタン(集落)でも飢饉でアイヌたちが苦しんでいた。

雷神の妹は大声で天に向かって助けを求めた。するとフクロウの女神が柳の枝を杖にして、魂を背負い地上に舞い降りてきた。

魂を入れた柳の葉を女神が鶴川に流したところ、みるみるうちにスサム(柳の葉の魚)になり、アイヌは飢えをしのごうができた。

この話から、スサムが「シシャモ」に、シシャモを「柳葉魚」と書くようになったと言われている。




### ≡ Voice ≡ 町の現場から

鶴川漁業協同組合青年部長 とみの ふみひろ 富野文洋さん

祖父や父と一緒に15歳のころからシシャモ漁をしています。いつになってもシシャモは気になる存在。漁の時期が近づくと獲りたくなりますね。シシャモ漁は『こぎ網漁』という漁法で獲るのですが、網を引っ張るスピードや、網の位置が海面近くなのか底のほうなのかといった部分で経験や鍛錬の差が出ます。鶴川漁港では、多い時で1日10トン以上の水揚げがあるんですよ！

むかわでは昔から獲るだけでなくふ化事業にも力を入れていて、2022年には新しいふ化場も完成します。むかわの文化でもあるシシャモを、どう残してどう増やすかということにも積極的に取り組んでいるんですよ！



輝く！  
むかわの  
産業

2

# 農業

＝ Voice ＝  
町の現場から

JAとまこまい広域穂別支所 ぶかや たかし  
ほべつメロン生産部会 部会長 深谷 孝 さん

うちの家はひいおじいさんの代に仙台から穂別地区に入植して、ずっと農業をしています。メロン栽培も、穂別地区では早くから始めたほうなんです。メロン以外にお米も作っています。

主にルピアレッドという品種のメロンを作っています。メロンは3月から種まきを始め、お盆ごろに収穫。その後も翌年に向けた種取りや土づくりなどが10月ごろまで続きます。穂別地区は朝晩の寒暖差のおかげでメロンの糖度が上がりますが、山間なので農地に段差があるのが大変なんです。シカやアライグマなど害獣にも悩まされますが、みんなで頑張っています。



## 地の利を生かして 多彩な農業を展開

日高山脈西側の山間部に位置し、朝晩の寒暖差が大きい穂別地区と、太平洋沿岸の比較的温暖な地域に広がる鶴川地区。両地区では、それぞれの気候や地域特性に合わせた多彩な農業が営まれている。

清流・鶴川が育む肥沃な土地で栽培される良質な米のほか、穂別地区ではその寒暖差が生み出す高い糖度が自慢の「ほべつメロン」をはじめ長いもやカボチャ、アスパラなどが生産されている。鶴川地区では大手ハンバーガー店でも使用されるほどの品質を誇るレタスやトマトのほか、キャベツ、ほうれん草、ニラ、ブロッコリー、イチゴ、豆類、そばなど実に多彩な作物が生産されている。他にも通年栽培の花き類や、全国各地へ送られる肉牛の素牛となる和牛の繁殖も盛んだ。

千歳市や苫小牧市などの物流拠点からの近さという利点も生かし、多品目を安心・安全に生産しているのがむかわの農業の特徴だ。



主に穂別地区で栽培されている長いもの収穫作業。



実に多彩な種類が生産されているむかわの農業。特にメロンやレタス、トマトが有名だが、最近ではブロッコリーの生産量が増えているという。

### ＝Voice＝ 町の現場から

JAむかわ 鶴川蔬菜園芸振興会 会長 ひらしま みちひろ 平島 道弘 さん

鶴川地区では昔は水稲が主だったんですが、少しずつ野菜なども増やし、今では野菜や豆類、和牛などたくさんの品目を作っています。ちなみにトマトだけでも、町内に約900棟のビニールハウスがあるんですよ！

夏でも冷涼で冬は雪が少ない鶴川地区は、野菜には良い環境なんです。そんな環境で基本的に忠実に栽培管理し、世界にも通用する基準で農薬量も抑えて、安全・安心な農作物を出荷してるので、ぜひ地元の皆さんにも味わってほしいですね。町では新規就農者向けの研修施設も備えているので、農業をやりたいと思う人は、ぜひむかわ町に来てみてください！



広々とした牧場で育てられる、松浦牧場の黒毛和牛。その数は約130頭。出荷時期となる2歳半くらいまで育て、年間約40頭を出荷する。

輝く！  
むかわの  
産業 **3**

# 畜産

焼肉用やハンバーグなどに加工された商品も販売中。町内の特産物直売所「ぼほんた市場」などで購入できる。



「Voice」  
町の現場から

まつうら ほんき  
松浦牧場 松浦 治記 さん

祖父がこの地で牛の飼育を始め、父がそれを継ぎました。僕は3代目として就農して8年ほど経ちますが、最近は父から経営のほとんどを任せられるようになりました。餌となる牧草は完全自給することがこだわりです。稲わらも町内産のものを使っています。それだけに今以上に規模を大きくせず、品質を守っていこうと思っています。

むかわ和牛はあっさりとしていくどくなく、「しゃぶしゃぶ」がおすすめです。もっとむかわ和牛が町内で楽しめる飲食店が増えてくれればうれしいですね。

幻の和牛「むかわ和牛」の  
ブランド化を目指して

町の農業のうち、前ページでも触れたように耕作物以外に畜産業が盛んなことも特徴の一つだ。

むかわ町の畜産は、養豚や乳用牛を飼育する農家も少数あるが、ほとんどは仔牛を育て、素牛として流通させる農家で、その数は30軒ほど。鶴川地区の農業産出額のうち、およそ3割を畜産が占めている。むかわ町で育てられた牛たちが全国の有名産地に送られ、各地のブランド和牛となり高級牛肉として市場に出回るのだ。

ではむかわ町産の牛肉が地元でまったく食べられないのかというと、そうではない。「松浦牧場」が黒毛和牛を仔牛生産から肥育生産まで一貫して行う町唯一の生産農家として、「むかわ和牛」のブランド名で流通させている。町内の飲食店や販売店、イベント等でお目にかかれぬむかわ和牛の肉は、希少な一品として人気だ。むかわ和牛の商品を見つけたら、ぜひともお試しいただきたい。

植林や草刈り、間伐など「山づくり」は林業の基本。苫小牧広域森林組合では胆振管内の2市4町の民有林約38,000ヘクタールを管轄している。

輝く！  
むかわの  
産業

4

# 林業

穂別にある組合加工センターでは、切り出された木材を梱包材などの製材に加工。敷地内には製材用のカラマツやトドマツが山積みされている。



「Voice」  
町の現場から

苫小牧広域森林組合 管理係 ただあさこ 多田麻子さん

組合の主な仕事は、組合員である森林所有者への経営指導や所有する森林の施業、経営の受託、林産物の生産や販売苗木等の物資の供給、治山事業、森林の保護などです。

その中で私は、穂別に地域おこし協力隊員として勤めたあとに組合に就職し、今は地域の植林活動や木工製作のお手伝い、町の木育に関する事業の受託などを行っています。自然豊かなむかわ町で、山林を守り育て、上手に活用していくことにこれからも取り組んでいきたいです。

林業は長い歴史を持つ  
まちの重要産業

むかわ町の森林面積は町全体の約8割にも及ぶ。この豊富な森林資源に支えられた林業もまた基幹産業の一つである。

昔から、特に穂別は林業が盛んな地域で、山で伐り出された原木は、冬は馬が引く「そり」に乗せて集材したり、鶴川の融雪期の増水を利用して原木流送が行われた。

また、木工の盛んな旭川をはじめ道内外の銘木市では、穂別産の木材は高評価を得るなど、まさに林業は町の歴史の1ページと言える。

さらに、町内には製材やチップのほか木質ペレットなどの工場もあり、そこで作られた製品を町内の公共施設などで使うといった、地域で作られたモノを地域で使う「地材地消」の取り組みも行われている。

森林は、「植えて育てて・伐って使って・また植える」といった森林資源の循環利用が重要である。適切な森林整備を行うことで豊かな森林がつくられ、その恩恵が林業の振興に繋がっている。

# 名物!

これぞむかわの

## 武鷗川ししやも

加工技術の高さが  
様々な味わいを生む

大きくてふっくらした身が特徴のシシヤモはまさに町の顔。武鷗川ししやも」は前述のとおり地域団体商標登録もされており、「ししやも」と言えば武鷗川と連想されるほど知名度は高い。その理由のひとつが、高い加工技術にある。

古くからししやも漁が行われてきた地だけに、地元加工业者にはそれぞれに独自のこだわりが。塩加減や干し方などが各々で洗練されてきたことにより、生の食感に近い「生干し」や、箸干しなどにしてうま味が凝縮された「干干」など味わいの違いを楽しむことができる。

秋から初冬にかけてが旬だが、真空パックや冷凍で通年購入可能。町内の販売店のほか、漁協のホームページでも扱っている。

ここまで紹介してきたように、産業が充実しているむかわ町。それだけに、魅力的な特産品もたくさん揃っている。

# 二大名物

中でも、名物と言えはやはり「鶺鴒川ししゃも」と「ほべつメロン」だ。むかわ町の二大地域ブランド、とくとご堪能あれ！

農家の腕と品質管理が  
支える高品質メロン

穂別地区で生産される、香りや糖度が自慢のほべつメロン。美しいネットと濃いオレンジ色の果肉が特徴の「ルピアレッド」と、糖度が高くさっぱりとした甘さの「おくり姫」の2品種が栽培されており、6～8月に出荷時期を迎える。

ほべつメロンは、平成8（1996）年に農林水産大臣賞を受賞。平成19（2007）年には地域団体商標にも登録された、町自慢の逸品だ。その品質は、気温に左右される生育状態を見極める農家の経験値と、品位や糖度をチェックされ、基準を満たしたものが出荷される厳密な選果作業が支えている。

## ほべつメロン





お土産買うならココへ!

特産物直売所 ぼぼんた市場

# 大集合!

かわ町には特産品もたくさん!  
すぐりの商品を、  
からセレクトしてご紹介!

## 道の駅 むかわ四季の館

むかわ町の観光拠点として人気の  
高い道の駅。1階の物産館には土  
産物が充実し、町内産の食材を  
使った限定商品を多数販売中。

むかわ町美幸3丁目3-1  
TEL.0145-42-4171  
物産館 / 8:00~21:00  
不定休

# シシヤモ尽くしの この4品!

ししやも醤油  
1本20g 560円

町内産シシヤモや、昆  
布、乾燥シイタケ、唐辛  
子がビンの中に入れて  
おり、醤油を入れて冷  
蔵庫で半日ほど置けば  
シシヤモ風味の醤油の  
出来上がり! 詰め替え  
用(370円)もあり。



リピート率抜群の  
ロングセラー商品

「四季の館」での  
年間売上No.1!

鵜川ししやもの  
昆布巻  
1本150g 760円

うまみたっぷりのオス  
のシシヤモ2尾をまるま  
る、トロツととろけるよう  
な味わい深い昆布で丁寧  
に巻きあげた、四季の館限定商  
品。遠方からも注文が舞い込む  
人気商品だ。



スタッフ考案の  
オリジナル  
キャラクター商品

むかわ温泉オリジナル  
ワルいししやもシリーズ

- ・トートバッグ(写真左)…1,507円
- ・子供用Tシャツ(写真右)…1,436円
- ・タオル(写真手前)…306円

四季の館の女性スタッフ考案によるオリジナルキャラ「ワ  
ルいししやも」がプリントされた各種商品は、道の駅の密かな  
イチオシ商品!? 写真以外に、パーカーやマグカップなども。

シシヤモダシが  
決め手の自信作

シシヤモでダシをとった醤油で味  
付け、じっくりと炊き上げた甘み  
のある佃煮。口に入れるとシシ  
のう  
まみが広がり、タケノコや北海道  
産昆布の食感のアクセントに。



むかわの佃煮  
1箱180g 690円

## 特産物直売所

### ぼぼんた市場

むかわ町の各種農海産物や、その加工品を多数取り扱う。シシャモは通年で取り扱っているほか、夏場にはほべつメロンも並ぶ。

むかわ町松風3-1  
TEL.0145-42-2133  
10:00~17:00  
年末年始(12/27~1/6)休

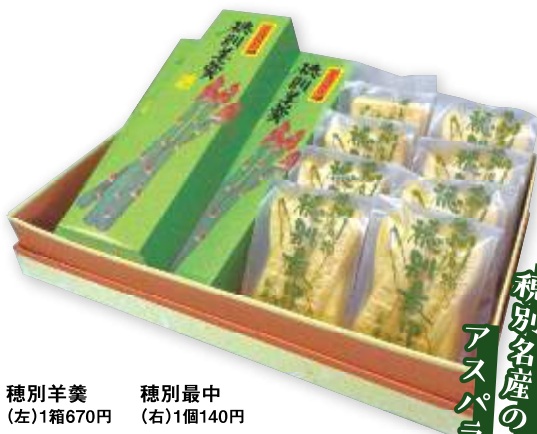
# 農産物加工品が充実!



贈答品としても人気!

**ながいも** ※時期やサイズにより価格は異なります

11月下旬から12月に店頭で並ぶ穂別産の長いもは、甘みや粘りが強く、品質の高さが自慢。ミネラルやビタミンも豊富で栄養バランスに優れ、贈答品としても人気が高い。



穂別名産の  
アスパラを使用

**穂別羊羹** 穂別最中  
(左)1箱670円 (右)1個140円

アスパラをかたどった最中は、程よい甘みの餡に穂別産アスパラの果肉が練り込まれており、独特の風味と食感が楽しめる。同じく穂別産のアスパラを使用した羊羹も、味が良いのはもちろん栄養もたっぷり、人気商品の一つ。

人気

道の駅 むかわ四季の館 &

## 特産品

産業が充実しているだけに、む  
その中から選り  
町内の観光拠点2施設



農家の  
母さんが作る  
素朴な味

むかわみそ  
1個900g 800円

自家製味噌作りこだわりの持つ「加工グループ乙女の会」が、自家生産の米と大豆を使い、生産から加工まで一貫して手間ひまかけて製造。その素朴な味が密かな人気なんだとか。

希少な原木栽培の  
肉厚シイタケ



生しいたけ・乾燥しいたけ  
(左上から時計回りに)

- ・山の幸 乾しいたけ…150g 1,880円
- ・乾燥しいたけ…200g 1,350円
- ・生しいたけ…160円 ・生しいたけ…150円

むかわ町のシイタケは主に穂別地区で生産。特に「北上しいたけ園」では原木栽培を行っており、肉厚で、プリプリの歯ごたえと凝縮されたうまみ特徴。

## たんぽぽ公園

鶴川河口近くの右岸、鶴川市街地そばの河川敷には、日本最大級のタンポポ群落生地が広がっている。毎年5月末から6月初め、約6ヘクタールの草原一面にタンポポの花が咲きそろう、見渡す限りの黄色い花畑に。見ごろの時期には町内外から大勢の見物客が訪れる。

むかわ町大原1

  
むかわの  
**観光**  
SIGHTSEEING

自然豊かなむかわ町には見どころもたくさん。定番からあまり知られていない穴場まで、むかわのおすすめスポットをご紹介します！

## むかわ温泉四季の館

天然温泉が楽しめる「むかわ温泉四季の湯」と、客室数16を備える「ホテル四季の風」に道の駅が併設された、観光の拠点となる複合施設。含よう素ナトリウム塩化物泉の温泉は神経痛や筋肉痛によく効くといわれ、毎日たくさんの日帰り入浴客でにぎわっている。和室・洋室があるホテルには太平洋を一望できる展望風呂が備わり、食事にはシシャモをはじめ地元産の食材をふんだんに使用。道の駅として機能する1階にはレストランや喫茶コーナー、多数の特産品が揃う物産館のほか、トレーニングジムや温水プール、図書館、ホール、また、むかわ町出身でノーベル化学賞を受賞した北海道大学名誉教授の鈴木章氏を称える「鈴木章記念ギャラリー」も設けられている。

むかわ町美幸3丁目3-1  
TEL.0145-42-4171  
温泉／日帰り入浴10:00～22:00  
(利用料大人520円、小学生210円、小学生以下無料)  
ホテル／チェックイン15:00から、チェックアウト11:00まで  
(プランにより変動あり)  
物産館／8:00～21:00  
レストラン／11:00～20:30(ラストオーダー20:00)  
喫茶コーナー／11:00～17:00(ラストオーダー16:30)  
不定休  
駐車場／普通車200台、大型車3台



「四季の湯」の湯は加温の放流・循環併用式だが、温泉分析書も取得した天然温泉。露天風呂やサウナもあり、町民はもちろん近隣の住民からも人気を博している。

## 穂別キャンプ場

「できるだけ自然のままに」をモットーとした、穂別の美しい自然の中に位置するキャンプ場。広大なテントサイトのほか、4タイプ18棟のバンガローやツリーハウス、電源も完備した簡易オートキャンプサイトがあり、多くのキャンパーに人気だ。場内にはサヌシユベ川が流れ、子どもたちの絶好の水遊びスポットに。アスレチックコースやパークゴルフ場でも遊べる。

むかわ町穂別稲里553 TEL.0145-45-3244

開設期間／5/1～10月中旬

テントサイト(中)1,100円、バンガロー(小)5,600円、

ツリーハウス4,200円、簡易オートキャンプサイト2,400円など



## 進化の道

穂別市街地の道道74号沿道には、約900mにわたって植樹された「生きた化石」といわれるメタセコイアの並木や、アンモナイトやクビナガリュウなどの古代生物があしらわれた街路灯が並び、「進化の道」と名付けられている。歩道には、地球誕生から穂別の発展までを5つのゾーンに分けて紹介する舗装や花壇が整備されている。

むかわ町穂別市街地



## 穂別ダム

道東道むかわ穂別ICを降りるとすぐに右手に見える湖は、穂別ダムのダム湖。穂別方面から国道274号を東に向かう途中にある穂別ダムは、昭和41(1964)年から10年余の歳月をかけて建設された農業用水ダムで、形式は中心遮水ゾーン型のフィルダム。堤高38.2m、堤長は283.22m。堤体のそばに駐車スペースがあり、見学可能だ。

むかわ町穂別長和



駅舎内は運賃表や時刻表など、営業当時の雰囲気のまま保存され、林業や鉱山開発などで賑わった往時の地域の様子をしのばせている。

むかわの  
**歴史・文化**  
HISTORY AND CULTURE

町の開拓や発展の歴史を伝える遺産や、古くからこの地に住んでいるアイヌの伝統儀式が、今も多く町に残っている。



宮沢賢治「銀河鉄道の夜」に着想を得た、天に向かって伸びるレールのオブジェ。

旧国鉄富内線の駅舎・施設跡 富内銀河ステーション

鶴川駅から日高町駅までを結び、昭和61(1986)年に全線廃止となった旧国鉄富内線。穂別地区の富内にあった富内駅の施設が保存され、大正12(1923)年に建造されたプラットフォーム、構内線路、駅舎の3件が国の登録有形文化財に指定されている。

むかわ町穂別富内81-1  
入場無料

穂別開拓の先駆者・中村家の住宅  
中村記念館

穂別で良質な石油を発見し、明治26(1893)年に新潟県から穂別へ移住し石油業を営んだ穂別開拓の先駆者、中村平八郎氏の邸宅として大正13(1924)年に完成した建物。大正期の建築の様子を知るうえで貴重な建築で、国の登録有形文化財に指定。

むかわ町穂別80-2  
問い合わせ／むかわ町穂別博物館(TEL.0145-45-3141)  
開館／4月第3土曜から8/31の9:30～16:30  
月曜、祝日の翌日休み(7・8月は毎日開館)  
観覧料100円(高校生以下無料)



平成16(2004)年に現地へ移築復元。建材もほぼ当時のものを使っている。



カムイノミの後、アイヌ伝統歌や踊りの披露、シシャモ汁の振る舞いなども行われる。

シシャモの豊漁を祈るアイヌの儀式  
シシャモカムイノミ

昔から鶴川アイヌが神々からの贈り物に感謝を伝え、豊漁を祈願するため行っていた儀式。しばらく途絶えていたが、鶴川アイヌ文化伝承保存会により、毎年10月に鶴川河口付近の「ムレトイの丘」で行われている。

## 「よろこびを力に」を コンセプトに

### 5月下旬 Arimori Cup マラソン大会

穂別の森づくりをきっかけに縁が繋がったマラソンランナー有森裕子さんを招いて毎年実施。有森さんが提唱する「よろこびを力に」を基本コンセプトに「くじけず、あきらめず、がんばる」ことの大切さを走ることを通じて確認することが目的。距離別に毎年多くのランナーや子どもたちが参加している。

会場 / Arimori Road(むかわ町穂別 鶴川河川敷)  
問い合わせ / むかわ町教育委員会(TEL.0145-45-2113)



季節ごとに、むかわ町では楽しいイベントがたくさん！  
ここに紹介する以外にも多数のイベントを行っているので、むかわ町のホームページなどでチェックしよう。

## 林業のまち・穂別が 熱くなる2日間

### 7月下旬 むかわ町穂別流送まつり

かつて林業が盛んだった穂別で、山から切り出した原木を川に流して下流へ送った「流送」をヒートに行われる「全道人間流送競技」がメインイベント。ほかにも丸太切り競技大会やステージショー、グルメや花火大会なども行われる、穂別の一大会。前夜祭、本祭と2日間にわたって行われる。

会場 / 穂別ふれあい公園(むかわ町穂別8-1)  
問い合わせ / むかわ観光協会穂別事務所(TEL.0145-45-3330)



### 9月下旬 むかわグルメフェスタ

むかわ町の多彩なグルメにスポットを当てて、平成25(2013)年から毎年開催されているイベント。鶴川ししゃもやほづつメロン以外にもむかわ町には美味しいものがたくさんある！とむかわ町のグルメが大集合するほか、ほっきつかみどり選手権、小学生以下限定の魚介類つかみ取りなど楽しいイベントも盛りだくさんだ。

会場 / むかわ町役場駐車場(むかわ町美幸2-88)  
問い合わせ / むかわ町産業振興課商工観光グループ(TEL.0145-42-2416)



## むかわグルメを まるごと堪能！

### 11月上旬 鶴川ししゃもまつり

鶴川ししゃもが旬を迎える11月上旬に開催されているイベントで、町内外から多くの観光客が訪れる。会場では焼きシシャモやシシャモ寿司などさまざまなシシャモ料理のほか、地元産品を使った多彩なグルメが登場する。今後もシシャモの旬の時期に合わせて開催される予定だ。

問い合わせ / 鶴川ししゃもまつり実行委員会  
(むかわ町観光協会内、TEL.0145-47-2480)

## 旬の鶴川ししゃもを 存分に楽しめる！





# メロン



## ほべつメロン(2玉)

初夏の強い日差しと夜の涼しさ、この温度差で糖度が高く甘い香りと口当たりがさわやかなメロンが出来上がる。地域団体商標に登録されているほべつメロンを産地直送で。

生産者：とまこまい広域農協穂別支所

## ふるさと納税についてのお問い合わせは

むかわ町役場総務企画課総務グループ  
TEL.0145-42-2411/FAX.0145-42-2711

### 特産品プレゼント

- 10,000円コース ●13,000円コース ●15,000円コース
- 20,000円コース ●22,000円コース ●24,000円コース
- 40,000円コース ●44,000円コース
- 50,000円コース
- 100,000円 ●120,000円コース



ふるさとチョイス

WEBサイトはこちら▶▶▶

<http://www.town.mukawa.lg.jp/item/3522.htm>

### 寄附の使い道

お寄せいただいた寄附金は、次の事業に活用させていただきます。

- 1 恐竜ワールド推進事業
- 2 次代のふるさとを担う子どもたちを育てる事業
- 3 自然環境の保全のための事業
- 4 高齢化社会・健康づくりのための事業
- 5 都市と地方の交流を深める事業
- 6 むかわ町長におまかせ

※令和元(2019)年10月1日時点の内容です。(変更する場合があります。)



むかわ町

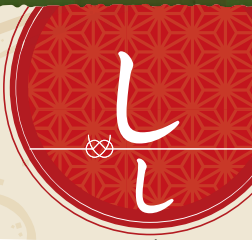
# ふるさと納税

## 返礼品

人気の一例

令和元年10月に返礼品の内容をリニューアルし、より充実したラインナップに！

※寄付金額は電話・ウェブサイト等でご確認ください。



しも  
やも



**ししやも**

- オス20尾
- メス30尾

冬時期(10月~11月中頃)に太平洋沿岸でしか獲れない希少価値が高いししやも。オスは脂がのった旨味、メスは卵の食感を堪能でき、食べ応えは抜群。

※オス・メス同梱のセットではなく、それぞれ別々の取り扱いです。

生産者:(株)カナゲイ大野商店、(有)丸中舛岡水産

**ナチュラルチーズ  
詰め合わせ**

- 内容**
- 雪の首160g・はじめのチーズ100g・カチョカバロ130g・さけるチーズ80g・ストリング(プレーン)80g・ストリング(しおかぜ)80g



**チー  
ズ**

「牧場で大切に育てた新鮮な生乳のおいしさを多くの人に知ってもらいたい」北川飛鳥オーナーの実家は3代続く酪農家、その牧場内に2009年にチーズ工房をオープン。自らが生産した生乳だけを使用した手作りチーズ。

生産者:ASUKAのチーズ工房

**雪瑞穂  
(ななつぼし10kg)**

夕張山系の蛇紋岩からミネラルをたっぷり含んだ伏流水を使って作られる。穂別地区で収穫された「ななつぼし」を、雪エネルギーを利用した氷室貯蔵で、一年を通して保存。



生産者:とまこまい広域農協穂別支所

**米**

**海  
産物  
メ  
ロ  
ン  
&**



生産者:とまこまい広域農協穂別支所(ほべつメロン)、吉村燻製工房(海産物セット)

**むかわ満喫セット**

- 1回目**  
ほべつメロン4~5玉
- 2回目**

海産物セット  
(新巻鮭半身切り身、ししやも20尾、鮭とば1袋、宗八カレイ姿珍味1袋、スモークサーモンブロック1パック、むかわの海塩・華の潮1瓶)

7月にほべつメロンを、12月には海産物と特産品のセットが2回に分けて発送され、町の名産品をたっぷり満喫できるセット。



むかわ町は

# 子育て世代が 暮らしやすいまち!

山・川・海という豊かな自然環境と穏やかな気候の中で生活できるむかわ町。  
子育て世代が暮らしやすいまちを目指して様々な支援・助成を行っている。

## 住宅サポート

むかわ町への移住・定住促進、町内外の方の住環境整備のための各種助成制度

### 新築・中古住宅取得助成「はーとふる・ほーむ助成事業」

#### 助成対象

- ・むかわ町内に新築戸建て住宅を建築する方
- ・むかわ町内の中古戸建て住宅を購入する方

#### 助成条件

- ・5年間の定住誓約を取り交わすことが可能な方
- ・住宅取得にあたり、他の補助・移転補償等を受給していないこと（一部除く）
- ・税等の滞納がないこと

#### 助成内容

##### ■住宅建築費

- ・建築費1,500万円以上(消費税抜)の  
施工住宅の場合:

**120万円(内、金券40万円)**

※町外建築業者が施工する場合は半額

##### ■中古住宅購入費

- ・建物本体の売買価格200万円以上  
(消費税抜)場合:

**40万円(内、金券20万円)**

※所有権移転後、半年以内の申請が対象

※リフォーム助成併用の場合は半額



##### ■子育て世帯支援加算

- ・18歳以下の未就労同居者1名につき、  
**10万円**上乗せ助成

##### ■土地購入費

- ・土地購入費200万円以上の場合**20万円**  
※移住促進の観点から、対象は町外者のみ

条件など詳細は下記まで問合せを。

### リフォーム助成

#### 「はーとふる・りふぉーむ助成事業」

#### 移住・定住の促進に資する改修

#### 助成対象

- ・町外からの移住、もしくは町民が定住のために取得した中古物件についての改修工事を行う方
- ・取得から3年を経っていない物件  
(新規就農者は取得からの期限なし)
- ・「はーとふる・ほーむ助成」の中古住宅の取得助成と併用可能対象となる経費、助成率、助成上限額の設定がある  
ので、詳細は右記まで問合せを。

#### 助成制度の相談・申込窓口

むかわ町役場

1. 本庁2F 建設水道課技術グループ

TEL.0145-42-2427

2. 穂別総合支所1F 地域経済課建設グループ

TEL.0145-45-2117

町HP <http://www.town.mukawa.lg.jp/1.htm>

生活のできごと/移住・住まい/

むかわ町の各種住宅助成制度について/

※上記から、申請様式(pdf)をダウンロード  
できます。



# 子育てサポート

むかわ町の特徴ある子育て支援

## 妊婦

### 不妊治療の助成

不妊治療の負担軽減を目的に、道の助成事業に上乘せして助成。

### 妊婦健康診査費還元事業

妊婦健診(14回)、エコー検査(6回)の助成券を使用した日に生じた自己負担金をむかわ町子育て支援CARDへポイント還元(但し、保険診療分を除く)。

### 妊産婦安心出産支援事業

町内に分娩可能な医療機関がないため、妊婦さんが安心して通院・出産ができるよう通院交通費にかかる経費の一部を助成。

### ママ・サポート119

妊婦さんが出血等で緊急治療や搬送が必要な場合、出産予定医療機関へ救急車で搬送(事前登録が必要)。



## 0~18歳まで

### 子育て支援医療費還元事業

発熱・胃腸炎・中耳炎・虫歯の治療・・・と医療費の負担が大きい子育て時期、そんな医療費の自己負担分を「むかわ町金券」に交換できる制度。この金券は町内の買い物などに利用できる。



▲むかわ町金券



▲むかわ町子育て支援CARD  
(ポイントカード)

## 乳幼児

### 子育て応援事業・ごみ袋配布

オムツ換えがたいへんな乳幼児がいるご家庭に、ゴミ袋を無料で配布する事業。  
20リットルの指定ゴミ袋なので、使用後のオムツを溜め込まず、こまめに捨てることができる。



## 乳幼児・学齢児等

### 予防接種費用助成

**定期予防接種** 自己負担なし(無料)  
**任意予防接種** インフルエンザ(1~15歳)  
自己負担1,000円/回



### 特別の理由による任意の予防接種費用助成

骨髄移植等で接種済みの予防接種の効果が期待できないと医師に判断された場合の再接種にかかる費用の助成。

## 園児

### 一時預かり保育

保護者のパート就労等により一時的に保育が必要な子どもや、保護者が傷病、その他の事情から家庭保育ができない子どもを一時的にこども園で預かってくれる。

#### 対象

町内に住所がある満1歳から就学前の子ども



#### ①非定期的預かり保育サービス

##### 対象

保護者の就労体系により、家庭での保育が断片的に困難な子ども

#### ②緊急預かり保育サービス

##### 対象

保護者の傷病、入院等により緊急、一時的に保育を必要とする子ども

#### ③私的理由による預かり保育サービス

保護者の私的理由(美容院や歯医者に行きたい、リフレッシュしたい、ゆっくり休みたい等)による一時的な保育

※ **対象** 認定こども園・地域保育所に通っていないまたは在籍していない乳幼児

※原則、利用希望日の7日前までに、こども園へ連絡が必要

### 保育料の軽減

認定こども園(認可保育所)の保育料を国の基準より安く設定し、保護者の負担を軽減する制度。

ひとり親家庭、障がい者のいる世帯等についても、免除及び減額を行っているほか、世帯主等の失業、病気等で世帯の収入が激減すると見込まれる場合等についても減免を行っている。

### 助成制度の相談・申込窓口

#### むかわ町役場

1. 本庁 健康福祉課  
子育て福祉グループ  
保険介護グループ  
TEL.0145-42-2415
2. 種別総合支所 地域振興課  
町民グループ 健康グループ  
TEL.0145-45-3326



詳しくは  
「むかわ町子育て  
ガイドブック」で



URL <http://www.town.mukawa.lg.jp/4121.htm>

# 震災から 得たもの。

—人のつながりが、  
むかわの元気になる—

平成30（2018）年9月に発生した北海道胆振東部地震は、震源地に近いむかわ町にも大規模な被害をもたらした。そこに住む人々に話を聞くと、震災の経験を糧に前向きに立ち上がる、たくましい姿があった。



秋季大会が終わってすぐにボランティア活動を始めた野球部員たち。現在も、農作業の手伝いなどを通じて町民との交流は続いている。



「当時の部員36人と、寮監や僕も含め全員が無事だったのは何よりでした」と語る鬼海監督。

震災後の冬期間には、除雪作業のボランティアも実施。



「高校の存続は町の存続と同じ」と、町は被災した寮に代わり迅速に仮設寮の設置を決めた。

「元気のリレー」がさらに町を強くする

多くの被害を乗り越え、町は復興の真つ最中だ。住民たちは、その経験を胸にして前を向く。

「秋季大会の直後、キャプテンが『僕らにも何かできることはありませんか？』と言ってきた。意外でしたね。こう振り返るのは、過去に甲子園にも出場した鶴川高校野球部の鬼海将一監督だ。震災からわずか一週間ほどで開催された大会。出場できたのは父母や地元住民たちの協力と応援があったこそだった。「町のために」と思えるパワーをもらってプレーし、今度はその恩返しをと、部員たちは町内の農家や施設に出向き、がれきの撤去や除雪などのボランティアを始めた。それは今でも継続中で、それまであまり町の

「ボランティア先で出会った



いっぶく堂の店主、工藤さん。本業である新聞店経営のかたわら、平成27(2015)年からたい焼き店を営んでいる。



工藤さんが「町のPRになれば」と考案した「恐竜焼き」。あんやクリームのほか、オリジナルの「チキン+マヨネーズ」味もあり、どれも1個160円。



鶴川市街地に町が建設した仮設店舗。現在、工藤さんのお店のほか家具店と電器店が営業している。

たいやきの店 いっぶく堂  
むかわ町松風1-37  
TEL.090-6877-2568  
10:00～商品が無くなり次第終了  
不定休

# 「町の団らんの場として、 できるだけ長くやっていきたいね」

いっぶく堂店主

工藤

弘さん



現在の部員は25人。そのほとんどが町外出身者だが、町の人たちは我が子のように見守ってくれているという。



震災時にキャプテンを務めていた内海陸くん。「大変な時に大会に出ていいのか?とも思いましたが、町の人たちが出場を後押ししてくれました」。

# 人たちから、生徒たちが 逆にパワーをもらいました」

鶴川高校野球部監督

鬼海将一さん

人と関わる機会のなかった部員たちが、自分たちを応援してくれる人たちと直に触れ合う中で「町の人に育てられている」という意識を強めたという。「この出会いで、生徒たちは人としての幅が広がったと思います」と鬼海監督は語る。

自ら立ち上がり、町を盛り上げようとする人もいる。たい焼き店「いっぶく堂」の店主、工藤弘さんは、震災で店舗を失った。名物「恐竜焼き」の型も壊れ「再開不能かと思った」そうだが、町が仮設店舗を設置すると聞き、焼き型もメーカーが格安で提供してくれることになり、再開を決意。理由は「子どもも年寄りも気軽に集まれる、いいいの場を作りたいから」からだ。「頑張っていたら、町も元気が出るだろう」と思っていた。できる限り続けていきたいね」と工藤さん。町の新名物になりつつある恐竜焼きを求めて、今は町内外からたくさんの方がやってくる。恐竜焼きの表面には、以前の型にはなかつた「むかわ竜」の文字が入る。  
元気をもらい、元気を与える。人々のこの連鎖が、町全体の元気へとつながっていくことだろう。

最大  
骨格化石

むかわ町



# ありがとうの 頑張る姿 を、全国に 気持ちと

むかわ町長

竹中喜之

## むかわ町復興計画

### ●● 復興に向けた基本理念 ●●

震災の経験を貴重な機会と捉え、「むかわの底力」により未来へつなぐ創造的復興・創生を目指す。

### ●● 復興の方向性 ●●

#### 被災者の生活再建

- ・公営住宅等の供給等
- ・被災者の心身の健康管理の強化 等

#### 災害に強いまちづくり

- ・地域防災計画の見直し
- ・防災拠点施設の復旧・整備 等

#### 産業・経済の再生と発展

- ・農林水産業生産基盤の再生
- ・まちなかの活性化等

#### 情報共有と町民参加によるまちづくり

- ・まちづくり計画の改定
- ・情報基盤の強化等

#### 多様なネットワークを大切にすまちづくり

- ・恐竜化石を活かしたまちづくり
- ・関係・関心・交流人口の拡大 等

震災からおおよそ1年が経った令和元(2019)年7月下旬「むかわ町復興計画」が策定された。復興に加え、未来へつながるまちづくりの計画を盛り込んだ「創造的復興・創生」を目指す計画だ。竹中町長に、これまでの振り返りと計画を踏まえたまちづくりへの抱負を伺った。

## ―震災から約1年半が経ちました。

一日一日が形容し難い毎日でした。旧鶴川町と旧穂別町の合併から約13年が経ち、人口減少などの問題に立ち向かっていった矢先の出来事でしたが、3000名を超えるボランティアの方々や、国、北海道、関係自治体及び自衛隊をはじめとする関係機関、また全国のたくさんの方々からの応援をいただき、なんとかこの局面に向き合っているところです。

現在も町内で130人を超える方々が仮設住宅などに入居しており、また、震災発生からの1年で440人の人口減少というかつてない減少率を記録しまし



町内に設置された応急仮設住宅。現在も多くの住民が入居しており、町は住民の生活再建を急いでいる。

た。それらを踏まえ、復興だけに留まらず、未来に向けた災害に強い持続可能なまちづくりを目指す『むかわ町復興計画』では最優先課題として『被災者の生活再建』を掲げています。

## ―旧両町合併から14年が経ちました。これまでの振り返りを。

まず農業の基盤が強くなり、産業としての厚みが増しました。両地区の農協青年部で共同事業を実施するなど交流も芽生えており、農業はこれから益々発展が期待できます。また他の産業においても、経済団体が一つとなったことにより効果的に事業等を進められており、底力がついてきたように思います。

現在、町の資源の開発や販売を担う地域商社の機能を持った組織の設立が計画されており、今後は目標を一つにして、まさに『ワンチーム』となって進むべき時だと感じています。

## ―復興計画の内容を踏まえて、今後のまちづくりへの意気込みは。復興計画にも掲げている『創造



国内最大級の恐竜化石として発見され、震災後に新属新種と発表されたむかわ竜は、町にとってまさに復興・創生の象徴だ。

的復興・創生』は町全体の課題。国や道にも協力を働きかけながら、マインナからゼロ、ゼロからプラスにするべくこの課題に真正面からぶつかっていく思いです。以前からの課題である人口減少対策などのまちづくり計画にいかに関興計画を融合させていくかというのが重要。現在の住民の皆さまの声を反映させながら、安心して住み続けられる町にしていきたいです。

また『むかわ竜』を活かしたまちづくりも観光面として進めます。町を訪れていただき、ファンになってもらえる『関係・関心・交流人口』の拡大のため、むかわ竜をまさに復興のシンボルとして位置づ

け、活用していきたいですね。ちなみに、むかわ竜が新属新種(カムイサウルス・ジャボニクス)であると発表されたのが、震災発生からちょうど一年後の9月6日でした。たまたまですが、これもきつと何かの縁でしょうね。

## ―最後に、むかわ町から皆さんへメッセージをお願いします。

今年は東京五輪聖火リレーのコースに、むかわ町をはじめ被災3町も選ばれました。また、北海道博物館を会場に恐竜展が開催予定です。全道、全国の皆さまにむかわ町を知っていただける機会が多くなりますので、この機会に町を見ていただいで、これまでの応援に對しての『ありがとう』の気持ち伝えたいと思います。今後も温かくむかわ町を見守っていただければうれしいですね。



穏やかな口調でインタビューに答じていただいていた竹中町長。その優しい人柄で町政を牽引している。

# むかわ タウンマップ

MUKAWA  
TOWN MAP



## 【ACCESS】 鶴川地区へのアクセス

### 🚗 自動車利用

- ・札幌から／道央自動車道～日高自動車道鶴川IC経由…約85km、約1時間
- ・新千歳空港から／道央自動車道新千歳空港IC～日高自動車道鶴川IC経由…約45km、約40分
- ・苫小牧から／日高自動車道沼ノ端東IC～日高自動車道鶴川IC経由…約37km、約40分

### 🚌 バス利用

- ・札幌から／札幌駅前バスターミナル→【道南バス「高速ヘガサス号」】→鶴川(四季の館前)…約1時間35分
- ・新千歳空港から／【道南バス「特急ひだか優駿号」】→鶴川(四季の館前)…約55分
- ・苫小牧から／【道南バス「特急ひだか号」、「苫小牧～静内線」】→鶴川(鶴川駅前)…約1時間

### 🚆 JR利用 (接続時間は含まず)

- ・札幌から／JR札幌駅→【特急「スーパー北斗」、特急「すずらん」】→JR苫小牧駅→【日高本線普通列車】→JR鶴川駅…約1時間15分～1時間25分
- ・新千歳空港から／JR新千歳空港駅→【快速エアポート】→JR南千歳駅→【特急「スーパー北斗」、特急「すずらん」、千歳線普通列車】→JR苫小牧駅→【日高本線普通列車】→JR鶴川駅…約50分
- ・苫小牧から／JR苫小牧駅→【日高本線普通列車】→JR鶴川駅…約30分

穂別(穂別総合支所)～鶴川(むかわ町役場)→約35km、車で約40分

## 鶴川市街地





**[ACCESS] 穂別地区へのアクセス**

**自動車利用**

- ・札幌から／道央自動車道～道東自動車道むかわ穂別C～国道274号、道道74号など経由…約115km、約1時間30分
- ・新千歳空港から／道道59号、道道74号など経由…約58km、約1時間
- ・苦小牧から／道道259号、道道59号、道道74号など経由…約67km、約1時間15分

**バス利用**

- ・鶴川地区から／鶴川駅前→【道南バス「穂別鶴川線」】→穂別(穂別中央)…約1時間
- ・新千歳空港から(予約制)／【道南バス「新千歳空港直行便」】→穂別(穂別中央)…約1時間30分